資料３

地域課題3

当事者の二次障害予防に向け、困りごとの軽減・就労選択のサポート体制が必要である。

（通信制高校との連携）

⇒卒業後に障害福祉サービスや相談支援につながる若者が増加している

⇒通信制学校と福祉分野との連携が十分ではない

【方針】 卒業前から相談先を知ってもらう機会をつくり、通信制高校との連携を強化する

【具体的な取り組み】
- 通信制高校との情報交換
- 相談窓口の周知
- 早期相談につながる仕組みづくり

【方法】 ワーキングメンバーにて学校を訪問し、情報交換と相談窓口の周知を図る

（1） 事前準備（1回）

・ワーキングメンバー（相談支援部会員から4～5名程度）及び事務局（5名）

・聞き取り票の作成、訪問方法の確認

（2） 通信制高校訪問

・2人1組で訪問（1人あたり1校程度）

・学校の現状や課題の聞き取り

・相談窓口の周知

＜市内通信制高校一覧＞

	施設名	届け出ている場所
1	星槎国際高等学校	福井市若杉4-2618
2	ふくいICT中央高等学院	福井市大宮3丁目6-9
3	WILL BE高等学院	福井市中央3丁目1-3太田屋ビル
4	imagine高等学院	福井市上野本町1-2211
5	トライ式高等学院	福井市大手3丁目4-1 福井放送会館1F

（3） 相談支援部会にて報告

・訪問結果の共有

・今後の連携方法の検討

（例）学校側と相談機関との意見交換会開催

（例）教職員向け相談窓口案内の作成　　など